

# 流れ学 I 及演習

平成 15 年 9 月

機械工学科 飯田 明由

## 講義の進め方

この講義は月曜日 1 限及び 2 限に実施します。1 限は座学、2 限は 1 限で行った講義内容に関する演習です。両方の時限を受講した場合に限り出席とします。1 限のみ、2 限のみの受講は認められません。

**オフィスアワー：**月曜日 三時限目（居室 8 号館 201 号室）

この時間以外はメール(iida@fluid.mech.kogakuin.ac.jp)または電話(0426-28-4156)にて在室を確認の上、8 号館 201 号室にきてください。

**教科書：**今木清康著：「詳解 水力学」理工学社(1990) ISBN4-8445-2255-8

教科書を必用とする演習があります。また、水力学は機械工学の基礎ですので、必ず購入してください。

## 演習：

- ・ 自筆のノートのみ参照可とします。
- ・ 教科書は許可がない場合は参照不可とします。
- ・ 関数電卓が必要な演習が多いので、必ず持参すること。
- ・ 1 時限目を受講した学生のみ、演習に参加できます。1 時限目を受講しなかった学生の演習は評価対象となりません。

## レポート：

毎週のレポートの平均点が 70 点以下の場合、定期試験の前に再レポートの提出を要求します。再レポートを提出した場合は、正規のレポートに加算して成績を評価します。

## 成績評価：

定期試験（60 点）演習（40 点）で評価します。毎週の演習の平均点に 0.4 掛けしたものが演習点となりますので、毎週の演習をしっかりと行ってください。出席点はありませんが、出席しないと演習が受けられないので不利になります。

演習問題は授業の内容に沿った形で出題しますので、事前に教科書を読んでおき、講義を聴けば、必ずできる問題です。